

## 学校教育目標「心豊かに生きる力を育てる」

### ○心身の健康を維持・増進する力「健康でたくましい心とからだを持った生徒」

- ・たくましく生きぬく力を身に付け、健全な心身を育成する。

### ○人と関わる力「適切なコミュニケーションを図り、素直な心を持った生徒」

- ・自分や他者への理解を深め、進んで人と関わる力を育成する。
- ・他者との適切な対話を通して考えを深め、思いやりある素直な心を育成する。

### ○自分を整える力「周囲と相談しながら自己の感情や行動を調整できる生徒」

- ・自己を肯定的にとらえ、自己実現を図りながら明るく前向きに生きる力を育成する。
- ・周囲の人と相談しながら、自分自身の感情や行動を調整する力を育成する。

### ○主体的に生活する力「主体的に学び、生き生きと活動できる生徒」

- ・主体的に社会に参加・貢献し、周囲と相談しながら自立した生活を営むための知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等を育成する。
- ・自ら考え、判断し、目的を持って行動し、粘り強く課題を解決する能力を育成する。

### ○意欲的に働く力「働く力を身につけ、働く喜びを感じることが出来る生徒」

- ・将来の働く生活に必要な望ましい勤労感や職業観を育成する。
- ・社会の中で職業生活を営むことのできる資質・能力を育成する。

# 1 本校の教育がめざすもの

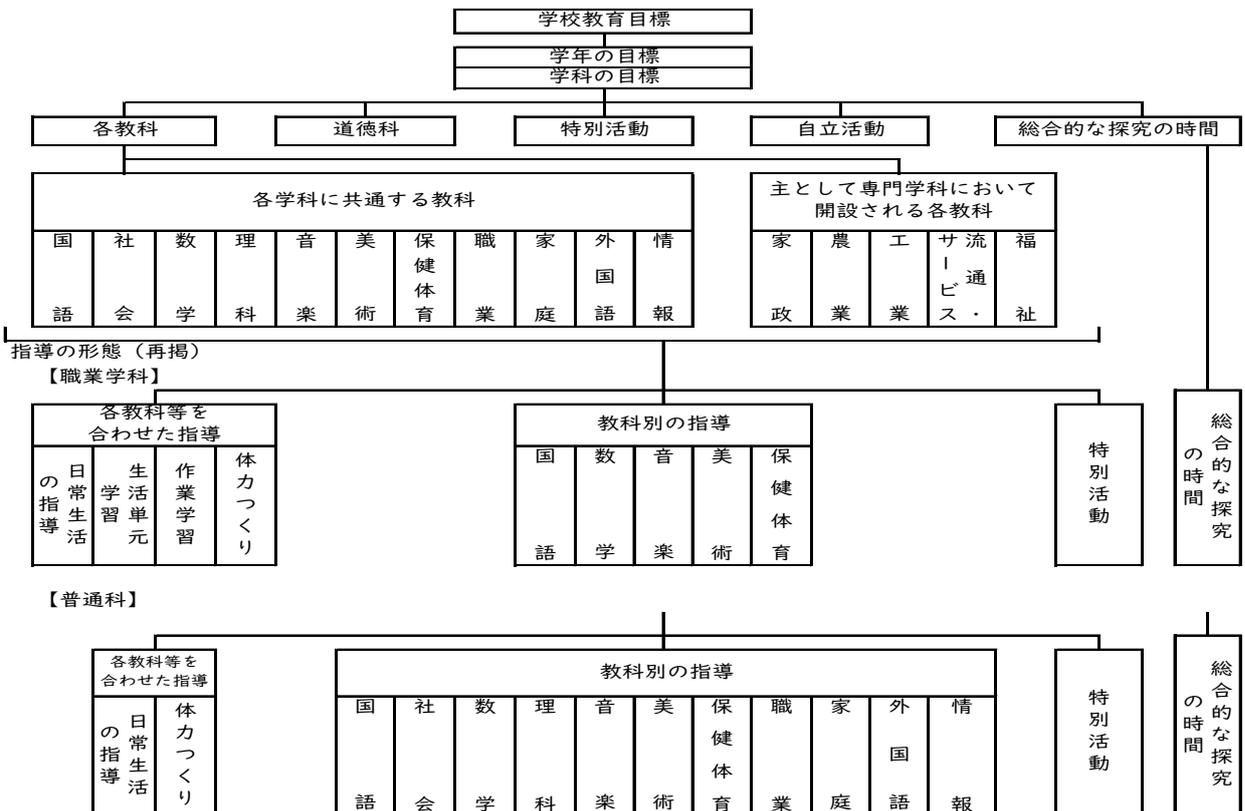
生徒それぞれが自己実現や自立を目指し、豊かな人間性をはぐくみ、社会人として生きていくための力を学び、身に付けることが「心豊かに生きる力」へとつながる。

将来の社会の創り手となることが期待される生徒たちにとって、学校生活で学ぶことは多々ある。それらには、知識及び技能に関わる各教科の内容や将来の職業生活に必要な望ましい勤労観、職業観を育成する内容、社会生活を主体的に営むための内容、さらには、豊かな情操や道徳心、健やかさなど個々に応じた様々な身に付けたい内容が考えられる。そのためには、限られた3年間の学校教育の中で、どのような力を身に付けていくことが必要なのかを明確にするとともに実践していくことが大切である。「社会へ送り出す」教育を担う高等養護学校の特徴を踏まえ、生徒それぞれの自立を目指し、「心豊かに生きる力を育てる」とした。

## 2 教育課程の基本方針

- (1) 学習指導要領及び教育課程編成基準、その他各法令に基づき編成する。
- (2) 各教科・道徳科・総合的な探究の時間・特別活動・自立活動で編成する。
- (3) 地域の実態を十分考慮し、各教科等縦断的かつ横断的な視点で編成する。
- (4) 職業自立・社会自立を目指して編成する。
- (5) 学校教育目標の達成を目指して編成する。

## 3 教育課程の全体構造



#### 4 指導形態の基本的な考え方と指導内容

【教科等を合わせた指導】職業学科・普通科共通

	基本的な考えとねらい	主な活動と主な教科内容
日常生活の指導	<p>日常生活の指導については、主に自立活動及び家庭、国語、道徳科の内容を学習するが、教科等を合わせた指導として行う。</p> <p>日常生活の指導においては、基本的な生活習慣の確立を図り将来の望ましい生活習慣を身につけることを目指す。</p> <p>また、日常の生活に関わる基本的な知識・技能の育成、自己理解や他者理解を図りよりよい人間関係の構築に努める。</p>	<p>【主な活動内容】 朝の会・帰りの会、登下校、着替え、食事、掃除</p> <p>【主な指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自立活動：健康の保持、人間関係の形成、身体の動き、コミュニケーション</li> <li>●家庭：衣食住の生活</li> <li>●国語：聞くこと・話すこと</li> <li>●理科：地球・自然</li> <li>●道徳科：主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること</li> </ul>
体力づくり	<p>体力づくりについては、主に保健体育及び自立活動、道徳科の内容を学習するが、教科等を合わせた指導として行う。</p> <p>体力づくりの指導においては、日常生活における適切な体育・健康に関する活動として、心身の健康、基本となる身体の動き、節度ある生活、集団への参加などについての理解できるようにする。</p> <p>また、生涯を通じて健康で安全な活力のある生活を送るために、何事にも前向きに取り組むことができるようなたくましい心身の育成に努める。</p>	<p>【主な活動内容】 運動強度別グループ 体操、ストレッチ、持久走、エアロビクス 軽スポーツ（ミニバレー、大縄跳びなど）</p> <p>【主な指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保健体育：体づくり運動、ダンス、体育理論</li> <li>●自立活動：健康の保持、人間関係の形成、身体の動き</li> <li>●道徳科：主として自分自身に関すること 主として人との関わりに関すること</li> </ul>

【教科等を合わせた指導】職業学科

	基本的な考えとねらい	主な活動と主な教科内容
生活単元学習	<p>生活単元学習については、主に国語及び社会、外国語などの各教科や道徳科や自立活動など教科等を合わせた指導として行う。</p> <p>生活単元学習の指導においては、生活に必要な知識・技能の獲得とともに、生活上の望ましい習慣・態度を育成するために、実際の・体験的な活動を行う。</p> <p>具体的には、偏見や差別のない視点で、物事や自分の進路を考え（暮らしと社会）、自分の心や性に向き合い、自他の生命を尊重して（心と体）、変わりつつある日本の過去と未来の動向を知り（日本と世界）、多様な人との関わりで変化に適応できる人間性を育む（行事単元）ことができるようにする。</p>	<p>【主な活動内容】 暮らしと社会、心と体、日本と世界 各種行事（スポーツ大会、学校祭、宿泊研修、見学旅行） 儀式的行事</p> <p>【主な指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国語：言葉の特徴や使い方、聞くこと・話すこと</li> <li>●社会：社会参加ときまり、公共施設の役割と制度、我が国の国土の自然環境と国民生活</li> <li>●理科：地球・自然</li> <li>●数学：数と計算、データの活用</li> <li>●保健体育：保健</li> <li>●外国語：英語の特徴等に関する事項、聞くこと・話すこと</li> <li>●情報：情報社会の問題解決</li> <li>●職業：職業生活、職業、情報機器の活用 産業現場等における実習</li> <li>●家庭：家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境</li> <li>●道徳科：主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること</li> <li>●自立活動：人間関係の形成、コミュニケーション</li> </ul>

作業学習	<p>作業学習については、主として専門学科で開設される各教科及び職業、自立活動、道徳科の内容を含めた、教科等を合わせた指導として行う。</p> <p>作業学習の指導においては、将来の職業生活を見据え、勤労を重んずる態度や将来の職業生活に必要な知識や技能及び態度、望ましい勤労観・職業観を育成し、自己に対する理解を深め、自らの生き方を考えて進路を主体的に選択できるようにする。</p> <p>また各作業学習の指導にあたっては、地域や産業界等と連携し体験的で実践的な学習活動の充実を図り、望ましい勤労観や職業観を育成する。</p>	<p>【主な活動内容】</p> <p>農業科：畑作（野菜・果物の栽培）、椎茸栽培、園芸、乾燥野菜加工、羊毛加工</p> <p>窯業科：窯業製品の製作 （たたら作り・機械ろくろ・玉作り・ひも作り）</p> <p>木工科：木製品の製作（木取り、成形、研磨、塗装）</p> <p>工業科：コンクリート製品の製作（平板、民地仕切り石等）、金属工芸作業</p> <p>家庭総合科：縫製作業、清掃作業（窓清掃、床清掃）</p> <p>【主な指導内容】</p> <p>●主として専門学科で開設される各教科 （農業科）農業：農業の概要、農業生物の栽培と管理、食品加工と管理 （窯業科）工業：セラミック加工による製品 （木工科）工業：木材加工による製品 （工業科）工業：工業の概要、コンクリート製品 金属加工による製品 （家庭総合科）家政：被服、手芸、家庭科：衣食住の生活 （各科共通）流通・サービス：流通業やサービス業の概要、商品管理、販売</p> <p>●職業：職業生活、産業現場等における実習</p> <p>●家庭：家族・家庭生活、消費生活・環境</p> <p>●自立活動：人間関係の形成、身体の動き、コミュニケーション</p> <p>●道徳科：主として自分自身に関すること 主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること</p>
------	---	---

【教科別の指導】職業学科・普通科共通

	基本的な考えとねらい	主な内容
国語	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で理解し表現する資質・能力を育成する。</p> <p>また、国語の指導にあたっては、習熟度別のグループを編成し指導する。</p>	<p>【主な内容】</p> <p>●国語：聞くこと・話すこと、書くこと、読むこと</p> <p>●道徳科：主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること</p>
数学	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。</p> <p>また、数学の指導にあたっては、習熟度別のグループを編成し指導する。</p>	<p>【主な内容】</p> <p>●数学：数と計算、図形、変化と関係、データの活用</p> <p>●道徳科：主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること</p>
音楽	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力の育成を目指す。</p> <p>また、1学年は必修とし、2, 3学年は選択とする。</p>	<p>【主な内容】</p> <p>●音楽：表現、鑑賞</p> <p>●道徳科：主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること</p>
美術	<p>表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成を目指す。</p> <p>また、1学年は必修とし、2, 3学年は選択とする。</p>	<p>【主な内容】</p> <p>●美術：表現、鑑賞</p> <p>●道徳科：主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること</p>
保健体育	<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた主体的・協働的な学習過程を通して、心や体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力の育成を目指す。</p>	<p>【主な内容】</p> <p>●保健体育：体づくり運動、器械運動、陸上競技、球技、保健</p> <p>●道徳科：主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること</p>

【教科別の指導】普通科

	基本的な考えとねらい	主な内容
社会	<p>社会的事象について関心をもち、具体的に考察や体験的な活動を通して、主体的に生きる公民としての資質・能力を育成する。</p> <p>生活に即したわかりやすいものとなるように、できるだけ具体的な内容を取り上げ、各教科と関連付け、横断的な授業を行う。</p>	<p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●社会：社会参加と決まり、公共施設の役割と制度、我が国の国土の自然環境と国民生活、産業と生活、我が国の国土の様子と国民生活、歴史、外国の様子</li> <li>●道徳科：主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること</li> </ul>
理科	<p>自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、観察、実験を行うことなどを通して、科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する。</p> <p>生活に即したわかりやすいものとなるように、できるだけ具体的な内容を取り上げ、各教科と関連付け、横断的な授業を行う。</p>	<p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●理科：生命、地球・自然、物質・エネルギー</li> <li>●道徳科：主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること</li> </ul>
外国語	<p>外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。</p> <p>生活に即したわかりやすいものとなるように、できるだけ具体的な内容を取り上げ、各教科と関連付け、横断的な授業を行う。</p>	<p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●外国語：英語の特徴に関する事項 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 言語活動及び言語に関する事項</li> <li>●道徳科：主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること</li> </ul>
情報	<p>身近にある情報機器の操作の習得を図りながら、問題の解決を行う学習活動を通して、情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画させるための資質・能力を育成する。</p> <p>生活に即したわかりやすいものとなるように、できるだけ具体的な内容を取り上げ、各教科と関連付け、横断的な授業を行う。</p>	<p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●情報：情報社会の問題解決 コミュニケーションと情報デザイン 情報通信ネットワークとデータ活用</li> <li>●道徳科：主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること</li> </ul>
職業	<p>職業に係る見方・考え方を働かせ、職業など卒業後の進路に関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>具体的には、職業に関する事柄について理解を深め、将来の職業生活に向け技能を身に付け、課題を解決し、よりよい職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて生活を改善しようとする実践的な態度を養う。</p> <p>また、職業の指導にあたっては、職業基礎により職業生活に必要な思考力、判断力、表現力等を育成し、選択実習や職業実習、現場実習等の活動により、実践的な知識や技能及び態度を育成する。</p> <p>指導内容を検討する際は、地域や産業界等と連携し体験的で実践的な学習活動の充実を図り、各教科と関連付けながら望ましい勤労観や職業観を育成する。</p>	<p>【主な活動内容】</p> <p>職業基礎：職業生活に必要な基礎的な知識及び技能に関する学習</p> <p>基礎実習：普通科のみの校内での実習</p> <p>選択実習：職業学科と行う校内での実習</p> <p>職業実習：村内企業で行う校外での実習</p> <p>現場実習：職業学科と一緒に産業現場での実習</p> <p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●職業：職業生活、情報機器の活用、産業現場等における実習</li> <li>●道徳科：主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること</li> </ul>
家庭	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を育成する。</p> <p>生活に即したわかりやすいものとなるように、できるだけ具体的な内容を取り上げ、各教科と関連付け、横断的な授業を行う。</p>	<p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭：家族・家庭生活、衣食住の生活、消費生活・環境</li> <li>●道徳科：主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること</li> </ul>

【特別活動・道徳科・自立活動の指導】職業学科・普通科共通

	基本的な考えとねらい	主な内容
特別活動	<p>多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。</p> <p>集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意志決定したりすることができるようにする。</p> <p>自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。</p>	<p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームルーム活動（ロングホームルーム、行事前清掃、大掃除、学年集会）</li> <li>・生徒会活動（生徒会活動、全校集会、生徒総会、生徒会役員選挙、学校祭前日祭、新入生歓迎会、卒業生を送る会）</li> <li>・学校行事（儀式的行事、文化的行事、健康安全・体育的行事、旅行・集团的宿泊行事、勤労生産・奉仕の活動）</li> </ul> <p>●道徳科：主として自分自身に関すること 主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること</p>
道徳科	<p>生徒が自己探求と自己実現に努め、国家・社会の一員としての自覚に基づき、行為しうる発達の段階にあることを考慮し、人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行う。</p>	<p>【主な内容】</p> <p>●道徳科：主として自分自身に関すること 主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること</p>
自立活動	<p>個々の生徒が自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識・技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を養う。</p> <p>自立活動の指導においては、各教科等と密接な関連を保ち、学校の教育活動全体を通して適切に行う。</p> <p>また、個々の生徒の実態や課題によっては、抽出して適切に指導を行う。</p>	<p>【主な内容】</p> <p>●自立活動：健康の保持 心理的な安定 人間関係の形成 環境の把握 身体の動き コミュニケーション</p>

【総合的な探究の時間】職業学科・普通科共通

	基本的な考えとねらい	主な内容
総合的な探究の時間	<p>各学習で学んだことを通し、将来の生活や、自らの生き方、在り方について考えを深め、自らの能力や課題に気づき、主体的に課題の解決に向けた取り組みを考えて実践しようとする態度を育成する。</p> <p>地域住民や他校の児童、生徒等との交流学习を通し、一人の人間として認められる経験を積み、主体的、協同的に社会に参画しようとする態度を育成する。</p>	<p>【主な内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職業生活（就労形態、施設職場見学など）</li> <li>・実習事前／事後学習（実習中の態度、職場でのマナー、礼状書きなど）</li> <li>・交流及び共同学習（上札内小学校との交流学习、更別農業高等学校との交流学习、地域貢献学習）</li> </ul> <p>●道徳科：主として自分自身に関すること 主として人との関わりに関すること 主として集団や社会との関わりに関すること</p>

## 5 学科の目標と基本的な考え方

### 【職業学科】

#### (1) 職業学科の教育目標

卒業後の社会参加・自立を目指し、各作業学習を通して社会人としての望ましい勤労意欲・態度・習慣を身につけるとともに、社会の中で働くことができる人格の形成を図る。

#### (2) 職業学科の教育の柱

ア 受検時に合格した学科の作業学習で、卒業後の働く生活に必要な専門的な知識や技能を販売会や受注製作等の製品製造、販売、現場実習などを通して体験的に繰り返し学ぶ。

イ 各教科等を合わせた指導では、作業学習、生活単元学習を中心に卒業後の具体的な生活場면을想定しながら、社会生活に即した知識や技能を体験的に学ぶ。

### 【普通科】

#### (1) 普通科の教育目標

将来の社会参加・自立を目指し、自ら学ぶ内容を選択しながら幅広く知識や技能を学び、将来の自立に必要な知識や技能を身につけるとともに、社会の中で働くことができる人格の形成を図る。

#### (2) 普通科の教育の柱

ア 特別支援学校高等部学習指導要領に示されている知的障害者の各教科の内容に沿って、教科等横断的な視点で各教科を関連づけながら将来の働く生活に必要な知識や技能を幅広く学ぶ。

イ 将来の職業自立を目指し自ら学ぶ内容を選択しながら、基礎実習、選択実習（他学科作業）や職業実習（デュアルシステム）、現場実習などの幅広い職業体験を通して働くことについて学ぶ。

## 6 年間授業時数

		1年職業学科		1年普通科		2年職業学科		2年普通科		3年職業学科		3年普通科	
		週時数	年間時数										
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	4.5	157.5	4.5	157.5	4.5	157.5	4.5	157.5	4.5	157.5	4.5	157.5
	生活単元学習	4	140	0	0	4	140	0	0	4	140	0	0
	作業学習	10	350	0	0	12	420	0	0	12	420	0	0
	体力づくり	4	140	4	140	4	140	4	140	4	140	4	140
教科別の指導	国語	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35
	社会	0	0	1	35	0	0	1	35	0	0	1	35
	数学	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35
	理科	0	0	1	35	0	0	1	35	0	0	1	35
	音楽	2	70	2	70	2選択	35	2選択	35	2選択	35	2選択	35
	美術	2	70	2	70	2選択	35	2選択	35	2選択	35	2選択	35
	保健体育	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70	2	70
	職業	0	0	10	350	0	0	12	420	0	0	12	420
	家庭	0	0	1	35	0	0	1	35	0	0	1	35
	外国語	0	0	0.5	17.5	0	0	0.5	17.5	0	0	0.5	17.5
情報	0	0	0.5	17.5	0	0	0.5	17.5	0	0	0.5	17.5	
道徳	教育活動全体を通じて適切に実施する												
総合的な探究の時間	0	60	0	60	0	60	0	60	0	50	0	50	
特別活動	ホームルーム活動	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35
	*生徒会活動	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35	1	35
	*学校行事		20		20		40		40		40		40
自立活動	教育活動全体を通じて適切に実施する												
合計(*除く)	31.5	1162.5	31.5	1162.5	31.5	1162.5	31.5	1162.5	31.5	1152.5	31.5	1152.5	

※総合的な探究の時間は特設で実施。

7 年間授業日数

	暦日数	1年		2年		3年	
		授業日数	休業日	授業日数	休業日	授業日数	休業日
4	30	14	16	15	15	15	15
5	31	17	13	17	14	17	14
6	30	22	8	22	8	22	8
7	31	17	14	17	14	17	14
8	31	9	22	9	22	9	22
9	30	20	10	20	10	20	10
10	31	21	10	21	10	21	10
11	30	20	10	20	10	20	10
12	31	16	15	16	15	16	15
1	31	10	21	10	21	10	21
2	29	19	10	19	10	19	10
3	31	15	16	15	16	2	27
計	366	201	165	201	165	188	178